



たけはな ゆい  
竹花 結 議員

## 問 サテライトオフィスの現状と今後の展開は

## 答 認知度を高め利用促進していく

**議員** DX実現のための場として整備されたサテライトオフィスについて、現在の利用状況と利用促進に向けた周知方法や今後の活用方法について伺う。

**町長** 個室として利用できるシェアオフィス4部屋のうち、1部屋が供用開始直後から企業1社により通年で利用いただいている。残り3部屋の利用状況は、4年度は131日、5年度は1月末までで22日となっている。

オープンスペースは、4年度は5日、5年度は11日、リモートワークブースは、4年度、5年度ともに1日の利用実績となっている。

事務室及び町史編集室は、町史編集を行う職員が、週2日ほど業務を行うほか、調理室は、下町町内会の活動拠点として利用されている。

今後は、情報発信を強化し、様々な角度から広く企業などにPRしていくこととともに、町民の皆様に対しても気軽に施設を活用いただけるようPRしていく。ICT機器を利用しない活動に対しても広く施設を開放することや、ICTに関するセミナーの開催による町内事業者へのDX推進支援に係る活用を図るとともに、より多くの企業、団体、町民などに施設を利用していただけるよう利用促進を図っていきたい。

**議員** ウェブ予約等の手軽に空き状況を確認できるシステムを導入してはどうか。

**総務課長** 今後、システム構築の必要性等を含め検討していく。

**議員** 併せて、くずまのフリースペースや会議室等についても、ウェブ予約を導入することで、町民がより集いやすくなるのではないか。

**総務課長** 町民などが利用



利活用が期待されるサテライトオフィス（下町地区）



状況をすぐみられるようなシステムについて、今後検討したい。

**議員** サテライトオフィスにあるタブレット20台の活用方法は。

**総務課長** タブレットは、サテライトオフィス内で使用することを前提に整備している。今後、使用できることをPRしたい。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタルテクノロジーを使用して、ビジネスプロセス・文化・顧客体験を新たに創造して、変わり続けるビジネスや市場の要求を満たすプロセス。



やまざし み  
山岸はる美 議員

## 問 「2024年問題」町バスの運行は

## 答 当面、安定したバス運行可能

**議員** 町では、広大な面積の中、バス運行業者、タクシー会社と委託契約、町独自の雇用で「葛巻町公共交通マップ」策定し、運行しているが、運転士不足の心配なく、安定した運行計画が出来るのか。

**町長** バス事業者は、公共交通の利用者の減少と燃料費高騰が長期化する等で、経営状態は厳しく、町では、バス事業者に経済的支援を行うことで、路線バスの維持に努めている状況である。

また、スクールバス、通院バスの委託先のタクシー事業者からも、6年度も問題なく、運行可能の確認がとれていることと、町直営分も運行可能な状況である。

しかし今後は、人口減少が進み、運転士の確保が難しくなることが想定

され、路線バスが廃止された際の、代替交通の検討と、タクシー事業者、町の運転士確保に向けては、葛巻町資格取得支援補助金の活用等に対応していく。



町内バスを利用する町民

**議員** 産直ハウスくずまき高原の、町の特産品は、魅力が凝縮されており、その特産品を活かしたレストランは、訪れる利用客にとって、重要な位置づけと思われるが、今冬休業中のレストランの再開の見通しは。

**町長** 道の駅くずまき高原のレストランは、町の特産品を活用したメニューの提供と町のシンボルとして、4年3月に営業を開始した。

しかしながら、使用許可を受けた方が体調を崩し、営業継続が困難な状況となり、5年12月末で、使用を停止した。

現在は、食を提供する新たな関係団体と協議を進め、産直ハウスくずまき高原と併せ、多くの観光客に訪れていただける施設運営に努めたい。

※「2024年問題」とは：2024年4月1日から、建設、運輸、医療に対して時間外労働時間の上限が規定されたことによって生じる様々な問題の総称。